

■南部憲一 日本人として最初にエジプト(ポートサイド)に定住，現地人と結婚し，手広く商売をした。

なんぶけんいち

日清戦争終・1895＝ 北海道の炭鉱町夕張で骨董店を営む家に生まれる。

日露戦争始・1904＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝10歳：

韓国反日暴動1907＝12歳：尋常小学校を卒業すると，横浜の親戚に預けられ，「イタリア人貿易商に奉公。

その貿易商の本店がエジプトのポートサイドにあり，

明治天皇没・1912＝17歳：

大正政変・・・1913＝18歳：この頃，*志願して，ポートサイドの本店に派遣されたい。

酷熱地獄のなか，身を粉にして働き，周囲の信頼を得ただけでなく，本店の女主人は日本人従業員を酷使，同期の店員らが反発して解雇されるも，同調せずに真面目に勤務，

ロシア革命・1917＝22歳：

契約期間の5年目には，*女主人に要請されて，その娘と結婚するに至り，アレキサンドリアの名誉領事経由で，日本に婚姻届を出している。あわせて，義母から独立資金を得，船舶輸送業の{南部商会}を創業。第一次大戦最中で多くの業者が引き揚げる一方，日本郵船が軍事物資を送るために定期航路を開設したこともあって，取扱物資は飛躍的に増大し，巨利を得，

ベルサイユ条約・1919＝24歳：

この年，エジプト最初の日本領事館がポートサイドに開設され，この年の外務省「在外本邦実業者調」に{南部商会}が掲載された。この時点で，ほかに3社の日系企業があり，いずれも，日本の大企業の出張所で，{鈴木商店}が圧倒的な取引をしている。

大暴落・・・1920＝25歳：

*大戦が終わると，観光客が増え始め，土産物販売を拡大，スエズ運河通行中のピラミッド見物などを対象とした旅行案内業も始めると，これまた儲かる商売になって行き，

原敬首相暗殺1921＝26歳：

この年，摂政皇太子(後の昭和天皇)がヨーロッパ歴訪の途次，ポートサイドで御召艦“香取”を下船し，カイロに滞在後，再び乗船している。

水平社結成・1922＝27歳：

治安維持法・1925＝30歳：

この年の地中海の沈没船八阪丸金塊引揚げの際には，自ら采配を振るう。「コロンボとシンガポールに船舶輸送業の支店を出し，兄と弟を日本から呼び寄せて責任者にし，社名も{南部兄弟商会}に変更。

金融恐慌・・・1927＝32歳：

この年の「貿易通信員報告集」に，ポートサイド唯一の日本企業として記載されなど，外国人相手に孤軍奮闘，*この地でも一目置かれる存在となるに至り，推されて市会議員に立候補，最高得票で当選するも議員資格を問われ，議員を務めながら裁判を続けるが，

世界恐慌・・・1929＝34歳：

結局，大審院で敗訴が決定。日本でも，この年の{国民新聞}の記事で，以上のことが，伝記的に紹介されるなど，海外で活躍する日本人として知られるようになる。

満州事変・・・1931＝36歳：

芥川直木賞始1935＝40歳：

この年，ポートサイドを再訪した京都帝大教授天沼俊一が，彼が海を見下ろす7階建の高級アパートに住んでいることを紹介し，

二二六事件・1936＝41歳：

この年フランスから帰国途中の俳人高浜虚子がポートサイドに立ち寄った際，彼にはすでに仕事があつて対応できず，お詫びにと，古い玻璃壺を進呈されたこと，

日中戦争始・1937＝

総動員+健保 1938＝43歳：

野上弥生子も渡欧の途中に立ち寄った際の彼の様子を書きとめるなど，「この地を訪れた全ての日本人の面倒を見てきたが，

第二次大戦始1939＝44歳：

第二次大戦が始まって商売に影を落とすようになるとともに，再起不能の病に冒された妻が，結局，自ら命を絶ってしまったためばかりでなく，

大政翼賛会・1940＝45歳：

*日米開戦を控え，スエズのことを知りつくした人間として軍部から呼ばれ，特殊任務についたことから，本店，支店の全ての撤退を決断，残務整理を兄に任せて，突然帰国し，故郷の夕張に一旦姿を現すが，以後，消息不明になった。

熊田忠雄「すごい日本人！続・海を渡ったご先祖様たち」，